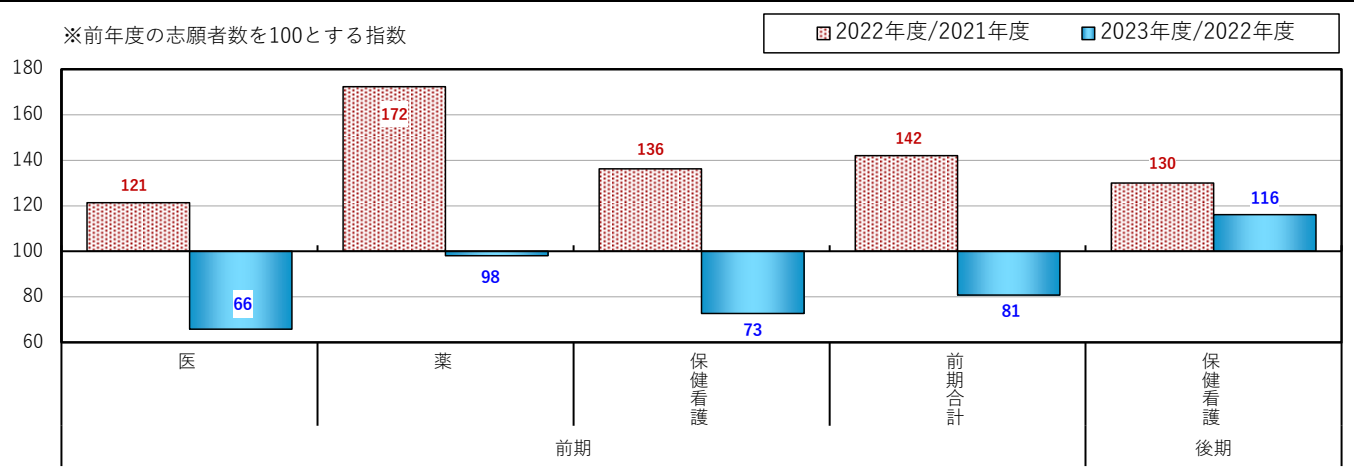


和歌山県立医科大：前期は医、保健看護が反動で大幅減少 前期：-145 人 後期：+21 人



主な入試変更点 募集人員：医<前>…(一般枠)64人程度→(一般枠)64人程度、(県民医療枠)15人程度→(県民医療枠A)10人程度、(県民医療枠C)2人程度
 ※県民医療枠A：従来の県民医療枠
 ※県民医療枠C：新設…(不足診療科枠)和歌山県内で不足する産科、小児科、精神科の医師を育成する募集枠
 第1段階選抜基準変更：医<前>…約3.3倍→共通テストの合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3.4倍
 (共通テストの中間発表時点の平均点により630点未満でも合格とする場合がある)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

前期は、医は2年連続大幅増加の反動で101人(66)の大幅減少、保健看護も2年連続大幅増加の反動で38人(73)の大幅減少、薬は6人(98)の微減。後期は、保健看護のみの募集だが、21人(116)の大幅増加で2年連続大幅増加。

<前期日程>

- 医(66)**は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少、志願倍率も3.7倍→2.6倍にダウン。新方式の<県民医療枠C>は、志願者数10人、志願倍率5.0倍で、募集枠別では最も高倍率。
- 保健看護(73)**は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少、志願倍率も3.5倍→2.5倍にダウン。
- 薬(98)**は、新設3年目だが系統への高い人気から前年度70%以上の激増の反動は小さく、微減に留まった。志願倍率も2年連続で4.5倍前後。